

科目名: 人間関係の心理学		科目コード	EH92
科目主査: 椎野 睦		単位	2
担当講師: 竹田 知子、椎野 睦、 末崎 裕康、松原 詩緒		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>本科目は、心理学の研究分野の中でも特に人間関係にかかわる事柄を扱います。心理学において人間関係とは、様々な心理学領域で考察され、発展してきました。本科目では社会心理学の知見を中心に、人間関係の心理について理解を深めます。人間関係の基礎理論を理解し、日常生活におけるその活用を考えていきます。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングし、質問ができるように準備してください。		
テキスト	『イラストレート人間関係の心理学』齊藤 勇,誠信書房,2015年		
この科目の 到達目標	<p>① 人間関係にかかわる心理学の基本的な諸理論を理解する。 ② 諸理論を理解することを通じて、自身の性格や行動を振り返ることができる。 ③ 理解した知識を自身の日常生活に反映させ、行動改善の一助とできる。</p>		
成績評価 の方法	成績評価は、最終試験の得点に加え、授業態度やグループワークへの参加度、グループワークを通じた成果物の内容も評価の対象とします。		
事後学習	参考文献を熟読し、より広く深く人間関係についての心理学的知識を深めることをお勧めします。また自身のコミュニケーションについて振り返り、学習した知識と技術をより良い人間関係構築のために実践されることをお勧めします。		
事後学習の 参考文献	『はじめてふれる人間関係の心理学』榎本 博明,サイエンス社, 2018年 『ワークショップ 人間関係の心理学』藤本 忠明/東 正訓(編),ナカニシヤ出版,2004年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			